

地域課題解決支援プロジェクト

「地域で取り組む鳥獣害対策」協議会 取組実績

1 事業の方向性

イノシシ等の野生鳥獣の出没による被害は全国的に拡大している。さらに、今後農地に限らず市街地や住宅地への出没が増加していくことが予想され、人身被害や交通事故等の生活環境被害の拡大が危惧される。こうした生活被害に対応するためには、農家だけではなく地域住民が鳥獣害対策を自分事として捉え、連携して取り組む必要があることから、地域での取組の促進を検討する。

2 参加自治体

津山市、玉野市、笠岡市、井原市、高梁市、備前市、浅口市、里庄町、矢掛町、鏡野町

3 コーディネーター

株式会社 野生鳥獣対策連携センター 専務取締役 阿部 豪 氏

4 取組実績

【令和3年度】

先進地視察等を通じて、協議会として実施する事業の絞り込みを行い、事業の概要等の調整を行った。

・第1回協議会（5月19日）

Web会議

自己紹介、昨年度準備会議の振り返り、課題等の整理

協議会のテーマや進め方など、昨年度の準備会議の振り返りを行った。また、各市町における野生鳥獣の出没状況や地域での取組といった現状を確認し、共通する課題や考えられる対策などを整理した。

・第2回協議会（6月30日）

関係課による事業紹介、実施事業の検討

県鳥獣害対策室、自然環境課から関連する県実施事業について説明を行った。前回の協議会で整理した課題から、住民が理解しやすい教材・資料を用いて出前講座等で知識や対応の浸透を図ることを基本路線とした実施事業を検討し、意見交換を行った。



・第3回協議会（8月26日）

Web会議

実施事業の検討、意見交換

前回の協議会で各市町の関心が高かった映像教材（動画等）を作成する事業について、取り上げるコンテンツや撮影方法など、事業内容をまとめていくうえでの意見交換（アイデア出し）を行った。



・第4回協議会（10月8日）

実施事業の検討、グループワーク

各市町が必要と考える映像教材のテーマについて、対象者や期待する効果等の確認を行った。また、作成するテーマの具体的なコンテンツや方針についてグループワークを実施した。



・ 第5回協議会（10月15日）

先進地視察

I C Tを活用した集落ぐるみの鳥獣害対策に取り組んでいる広島県三次市を視察した。事業紹介や現地の確認を行った他、実際に事業に取り組んでいる地元住民を交えた意見交換も行い、協議会で実施する事業の参考とした。



・ 第6回協議会（10月27日）

視察の振り返り、実施事業の検討

先進地視察を踏まえ、住民の鳥獣被害に対する意識醸成を図ることを目的として、I o Tカメラを活用した集落ぐるみの情報共有モデル事業に取り組むこととした。また、作成する映像教材は、イノシシ、シカ等の獣種ごとに作成することとした他、担当獣種の決定等を行った。



・ 第7回協議会（11月24日）

事業概要等の調整、グループワーク

事業概要案や事業計画案等の説明を行い、それに対する意見交換を行った。

また、映像教材の作成について、担当獣種ごとにグループワークを行い、必要な映像素材の確認や具体的なシナリオ案の検討を行った。



・ 第8回協議会（1月12日）

来年度の事業実施に向けた準備

来年度の事業実施に向けて、来年度予算や事業概要について調整を行った。また、I o Tカメラを活用した集落ぐるみの情報共有モデル事業については、市町ごとの事業計画を作成することとした。



・ 第9回協議会（2月18日）

Web会議

来年度の事業実施に向けた準備

前回協議会で調整を行った来年度予算や事業概要について最終確認を行った。また、実施事業に係る事業計画についても最終確認を行ったほか、来年度のスケジュールを共有し、円滑な事業実施に向けて準備を行った。

【令和4年度】

①鳥獣害に関する普及啓発事業

- ・ 映像教材を制作し、鳥獣害に関する普及啓発を行った。
- ・ 制作にあたっては、市町でシナリオ作成及び使用する映像や画像の収集を行った。

②I o Tカメラを活用した集落ぐるみの情報共有モデル事業

- ・ 自動撮影機能付きカメラを活用し、住民に野生鳥獣の行動等を認識してもらい、鳥獣害対策への積極的な参画と自衛意識の向上を図った。

・ 第1回協議会（4月25日）

自己紹介、昨年度の振り返り

自己紹介、昨年度の振り返りを行った。また、今年度実施する2事業について、今後のスケジュールの確認を行った。



・ 第2回協議会（9月27日）

事業の中間報告

I o Tカメラを活用した集落ぐるみの情報共有モデル事業について事業の中間報告を各市町から行ってもらい、協議会内で情報共有を図った。



・ 第3回協議会（12月26日）

事業終了に伴う事業報告、活動報告会、来年度以降の自走についての協議

I o Tカメラを活用した集落ぐるみの情報共有モデル事業について、事業終了に伴う事業報告を各市町から行ってもらい、事業のメリットや課題等を共有した。来年度以降の自走については、各市町の状況に応じて同事業を継続して取り組んでいくことを確認した。

また、鳥獣害に関する普及啓発事業については、映像教材の制作に向け、使用する映像素材の収集状況の確認等を行った。映像教材が完成した後、出前講座やHP等で広く普及啓発に取り組んでいくことを確認した。